

令和4年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 萩 原 貴 幸

フロンティア秋田 藤 田 信

市 民 ク ラ ブ 工 藤 新 一

公 明 党 石 塚 秀 博

共 産 党 佐 藤 純 子

秋 水 会 伊 藤 一 榮

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 市長の政治姿勢について

- (1) 昨今の物価高騰が市民生活に与える影響に対する市長の受け止めはどうか、また、その対応はどうか
- (2) 暖房機器の使用が増える冬期間における家計負担軽減の一助として、昨年度実施した福祉灯油購入費助成事業の対象世帯を拡大し、今年度も灯油購入費等の助成を実施する考えはないか
- (3) 持続可能な循環型社会の構築に向け、再生可能エネルギーの活用等も必要であると考えているが、本市のエネルギービジョンについて、市長の考えはどうか

2 子育て応援施策について

- (1) 本市独自の出産・育児支援施策として、子供の生まれた世帯を対象に、育児用品の購入に使用できるポイントを付与するなどの取組を行ってはどうか
- (2) 子育て世帯の家計負担軽減の観点から、市立小中学校の学校給食費の一部助成を行ってはどうか

3 再生可能エネルギー・新技術等の導入・開発支援について

- (1) 省エネ・節電策として、太陽光発電システム設置費の補助に関連づけて、蓄電池設置費用の一部を補助してはどうか
- (2) 再生可能エネルギーを活用した水素製造技術の開発支援について、県設立の秋田水素コンソーシアムへの参画のみならず、県と連携して強力で押し進めていくべきと考えるが、本市の考えはどうか

4 外旭川地区まちづくりについて

- (1) 同地区まちづくりにおいて、最優先で進めるべき事業は卸売市場の再整備であると考えているが、新卸売市場の供用開始時期はどうなっているのか

(2) 外旭川地区まちづくり庁内検討委員会や分科会等における事業パートナーの提案書に対する検討結果はどうか、また、同提案の実現性についての検討結果はどうか

(3) 同地区まちづくりにおいて、本市の政策として特に力を入れて進めたい取組はどのようなものか、また、その実現に向けた課題は何か

5 小中学校の防災教育について

(1) 市立小中学校での防災教育はどのように行っているのか

(2) 将来の地域防災の担い手育成の一環として、一般財団法人防災教育推進協会が実施しているジュニア防災検定を導入してはどうか

6 防災について

(1) 本市の消防団員数と水防団員数の実態はどうか、また、消防団員と兼任している水防団員の数はどうか、さらに、各団員数は充足していると考えているのか

(2) 本市の水防団員へのライフジャケットの充足率はどのような状況か

(3) 避難所に設置する仮設スロープについて、本市では全ての避難所に設置できる数を保有しているのか

7 秋田市まちなか観光案内所について

(1) 今年度開催された東北絆まつり2022秋田や秋田竿燈まつりなどにより、県内外の観光客が増加したものとするが、同案内所の利用状況にはどのような変化があったのか

(2) 同案内所は、秋田市文化創造館やあきた芸術劇場ミルハスなどの周辺施設とも連携する必要があると考えるが、多くの観光客に利用してもらうための取組について何か考えているのか

(3) 同案内所において、VRを活用した本市観光施設のPR動画による案内など、観光客が実際に足を運び、観光したいと思わせる取組を行ってはどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 最低賃金について

ア 本年8月5日に、秋田地方最低賃金審議会から秋田労働局へ答申のあった本県の最低賃金改定額について、人口流出の抑制や本市経済の振興の観点からどう評価しているのか、また、本市における望ましい最低賃金額は幾らと考えているのか

イ 都道府県ごとの地域別最低賃金ではなく、全国一律の最低賃金とするよう国に働きかける考えはないか

(2) 価格高騰対策について

ア 下水道使用料や家庭ごみ処理手数料など、市民から徴収する手数料等の中で、減免について検討できるものはないか

イ 食品の値上げに対して、学校給食の栄養バランスを維持し、児童・生徒の健康を守るために、公費で食材費の値上げ分を一時的に負担する考えはないか

(3) 利用者数が想定を下回っている泉外旭川駅の整備効果を現時点でどう捉えているのか、また、今後、どの時点でどのように評価すべきと考えているのか

2 小学校高学年における教科担任制について

(1) 教科担任制を進めるに当たって、本市として、どのような方針で取り組んでいくのか、また、高学年以外の学年への導入に対してどのように考えているのか

(2) 加配教員の配置について、国や県への働きかけの状況はどうか

(3) 学校規模や地理的条件に応じた教員配置や学校間の連携について、どのように考えているのか

3 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進について

(1) 高齢者の孤立化予防や社会参加のきっかけづくりのため、いつでも

- 誰でも行きやすい日常的な集いの場として、地域のサロンを各市民サービスセンターなどに設置し、運営できないか
- (2) 高齢者コインバス事業の推進のため、高齢者の家庭・生活状況に合わせたモデル外出コースを設定し、旅行雑誌のような啓発資料を作成・配布する考えはないか
 - (3) 老人クラブ数とその会員数が減少を続けているが、その原因をどう分析しているのか、また、同クラブへの加入促進や活動活性化のため、どのような見直しが必要と考えているのか
 - (4) 介護支援ボランティア事業における活動者数が伸び悩んでいるが、その原因をどう分析しているのか、また、登録者数や活動者数の増加に向け、紹介や口コミ発信などにもポイントを付与する考えはないか
 - (5) 介護支援ボランティア事業のポイント付与の対象を、地域サロンや老人クラブ活動、健康教室など幅広い社会参加活動に拡大し、事業をリニューアルする考えはないか

4 自転車活用の推進について

- (1) 秋田市自転車活用推進計画の策定に向けた検討の状況はどうか、また、同計画の中に自転車ネットワーク計画を位置づける考えはあるのか
- (2) 既設道路において自転車道や自転車専用通行帯が設置されている区間はどのくらいあるのか、また、今後設置を見込んでいる区間はどのくらいあるのか
- (3) 限られた道路空間の中で、安全で快適な自転車通行空間を効果的かつ効率的に確保するため、どのような手法を採用するのか、また、暫定形態として車道混在も積極的に推進する考えはないか
- (4) 自転車損害賠償責任保険への加入促進について、具体的にどのような取組を行うのか
- (5) 高齢者の自動車運転免許証の自主返納に円滑につなげられるように、自転車利用の啓発等を図る考えはないか

5 節度ある適度な飲酒の推進について

- (1) アルコール健康障害への対策として、どのような指針に基づき、どのような施策や事業を実施しているのか、また、実施の効果はどうか
- (2) 節度ある適度な飲酒を推進するための情報発信を強化すべきではないか、また、アルコール関連問題啓発週間において、アルコール健康障害の啓発事業を行う考えはないか
- (3) 飲酒習慣について、市民が自己点検できるツールを提供してはどうか

6 循環型社会の構築について

- (1) リサイクル（再生利用）推進の取組の一つとして、廃棄物に新たな付加価値を持たせるアップサイクリング（創造的再利用）の推進に取り組む考えはないか
- (2) 市内の民間企業や団体等によるアップサイクリングへの取組を把握しているのか
- (3) 本市が排出する廃棄物の中で、アップサイクリングできるものはないか、また、それらの廃棄物を公開し、アップサイクリングする民間企業等に提供する仕組みを構築する考えはないか

7 小児がんの治療等により定期予防接種で獲得した免疫が失われた方への再接種について

- (1) これまで本市として、個人の重症化防止には有益であるが、集団予防という観点から再接種の必要性は低く、再接種費用の助成を考えていないとのことであったが、一転して、再接種費用を助成しようとする理由とその経緯は何か
- (2) 予防接種による健康被害への救済制度について、再接種の場合にも定期予防接種と同様の取扱いを求める国への要望の検討状況はどうか

1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 秋田市外旭川地区まちづくり懇話会において、委員から出された意見を市長はどのように受け止めたのか
- (2) 同地区にモデル地区を整備する理由について、「若者が将来に希望や期待を持てる雇用の場、ビジネスチャンスを得られ起業できる環境やにぎわいを創出することなどが求められている」としているが、若者が具体的に何を望んでいるのか把握しているのか、また、把握しているとすれば、どのような手法で把握したのか、さらに、事業パートナーからの提案において、若者の望みに応える取組が何なのか、市民に具体的に示すべきと考えるがどうか
- (3) 同地区におけるまちづくりは、中心市街地の活性化や多核集約型コンパクトシティの考え方と整合性が取れないと考えるが、今後どのように整合を図っていくのかについて、市民に分かりやすく説明すべきと思うがどうか
- (4) 今後、事業パートナーから示された具体案が受け入れられない場合、どのように対応するのか
- (5) 同地区におけるまちづくり事業のスケジュールに遅れが生じた場合でも、卸売市場の再整備に影響はないのか
- (6) 同懇話会において、土地利用計画（案）として、4つの案が示されているが、卸売市場の再整備が確実に進むよう、現在の敷地内に再整備する案を採用し、再整備工事中に不足する駐車場等の敷地は近隣から借用すべきと考えるがどうか

2 公共交通の確保について

- (1) 現状では、公共交通の確保に係る課題が山積しており、市民の足が守られるかどうかの瀬戸際にあると考えるが、市長の認識はどうか
- (2) いわゆる改正地域公共交通活性化再生法における各事業など、国の制度、支援内容を十分に精査し、利用を検討するとともに、市と路線

バス事業者が率直に意見を交わし、現在不足しているもの、今後必要となるものを明確にすることにより、支援の実効性を高めるべきと考えるがどうか

(3) 路線バスの運転士の確保を支援するため、運転士の処遇改善に係る補助を行うよう、国に働きかける考えはないか

3 高齢者コインバス事業専用 I C カード（シニアアキカ）の運用について

(1) 電子決済を利用しない高齢者も多く、シニアアキカの運用に関する不安の声が上がっているが、このような市民の声をどう捉えているのか

(2) 各市民サービスセンター及び各地区コミュニティセンターにおいて、シニアアキカの仕組みや使用方法などの理解を深めるため、利用対象者への説明会を開く考えはないか

(3) 令和 5 年 4 月から、コインバス資格証明書を廃止し、シニアアキカのみでの運用を開始するとのことであるが、同証明書との併用期間を延長する考えはないか

4 エイジフレンドリーシティについて

(1) 本市が、エイジフレンドリーシティを標榜してから約 10 年が経過したが、目標の何割が達成できたと認識しているのか

(2) 未達成の目標に対して、具体的にどのように取り組み、達成を目指すのか

5 除排雪の改善について

(1) 路面状況をよりの確かつ迅速に把握するため、これまでの地域情報員制度及び道路パトロールの在り方を見直し、さらに市民の生活に寄り添った体制を構築することが必要と考えるが、今冬はどのような改善を図るのか

(2) 除排雪コールセンターにおいて、集約された情報・要望は、どのよ

うに共有され、除排雪作業にどう生かされているのか

6 ゼロカーボン宣言について

(1) 本市は、なぜ、いまだにゼロカーボン宣言を行っていないのか

7 千秋公園大手門の堀について

(1) 遊歩道について

ア 利用期間は何月から何月までとするのか

イ 利用者が少ない深夜は通行止めにするとのことであるが、それ以外の夜間及び早朝の利用は可能なのか、また、その際の利用者の安全管理は、どのように行うのか

(2) ヨシの除去について

ア ヨシの繁殖が広がっており、ハスの景観を損ねることから、除去のための抜本的な対策が必要と考えるがどうか

イ ヨシの除去について、具体的にどのような手法を想定しているのか

1 「リトルベビーハンドブック」の作成について

(1) 「リトルベビーハンドブック」は、小さく生まれ、ゆっくりでもそれぞれのペースで成長する子供たちと、思い悩む親たちに寄り添い、孤立させないために、個々の成長に寄り添った情報や同じような育児経験を持つ方々のメッセージ等を届ける取組となり、育児の後押しにつながるものと考えているが、今後予定されている国の母子健康手帳の改訂やデジタル化に関する検討を見据え、本市独自のベビーハンドブックを作成する考えはないか

2 堆肥等の活用による環境に配慮した持続可能な農業について

(1) 耕畜連携について、堆肥活用における現在の取組状況及び推進に当たっての課題は何か、また、本市の農業振興に向けた今後の耕畜連携の展開についてどのように考えているのか

(2) 国の掲げる「みどりの食料システム戦略」について、SDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、本市はこの持続可能な食料システムをどのように捉え、今後、どのように対応していくのか

3 古川流域の総合的な治水対策及び河川防災ステーションについて

(1) 排水機場から雄物川本川への排水について、堤防乗り越し形式が採用された理由は何か

(2) 排水機場の整備箇所が低地のため、万が一水没した場合でも機能を発揮するポンプ設備を採用し、また、発動発電機等の設置位置は浸水しない高さとするとしているが、浸水しない高さの根拠と設置場所における地盤からの盛土等のかさ上げ高はどの程度と想定しているのか

(3) 排水機場に使用するポンプや関連施設にも電子部品が使用されているが、新型コロナウイルスの感染拡大により、資材の調達に遅れが生じていることから、整備スケジュールどおり各整備項目が全て2025年

度末までに完成できるのか懸念されるが、整備スケジュールに変更はないのか、また、整備スケジュールどおり完成させるための対策について、どのように考えているのか

(4) 令和3年2月定例会の代表質問において、市長は、各施設等の連携が重要であると答弁しているが、各施設等の連携強化のための運用や制御の方法についての検討結果は、既に示すべき段階に入っていると考えるがどうか

(5) 排水機場Ⅰには、操作やメンテナンス等に使用するための連絡道路が整備される予定となっているが、河川防災ステーションに備蓄される緊急用資材の搬入・搬出や緊急車両の出入り、及び水防センター等への進入路として、国は、この連絡道路を河川防災ステーションへのアクセスルートとして活用する予定なのか

(6) 本市が整備する水防センターには、どのような機能があり、どのように活用する計画なのか、また、今後の整備スケジュールはどうか

(7) 国が示した河川防災ステーションの計画概要には、平常時に同ステーション敷地を活用したレクリエーションなど地域交流の場や、防災訓練、防災教育の場としての利活用を促進し、地域のにぎわいづくりや防災への意識向上を図るとあるが、それぞれの計画を策定するためには、地域住民等へのアンケート調査を実施し、広く住民意見を取り入れながら取り組むべきと考えるが、本市としてどのように進めていく予定なのか

(8) 排水機場の整備完了までの間、大雨による被害を発生させないためにも、古川の河道掘削を再度実施すべきと考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 第2次岸田改造内閣が進めようとしている大軍拡や9条改憲についてどのように考えているのか
- (2) 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）について、本市とこれまで関わりがあったのか調査すべきではないか、また、反社会的集団との関わりは持つべきではないと思うがどうか
- (3) 安倍元首相の国葬について
 - ア 内心の自由に反し、法的根拠が明確ではなく弔意の強制につながる国葬を市長はどう考えているのか
 - イ 市立学校などの公共施設に半旗掲揚や弔意を求めるべきではないと考えるがどうか
 - ウ 国葬に参列する意向はあるのか、また、その際に、公人として参列するのであれば公費を支出するのか

2 市民のいのちと暮らしを守るために

- (1) 8月に発生した大雨被害への支援について
 - ア 非住家も秋田市災害見舞金の支給対象とすべきではないか
 - イ 被災者に支援事項を周知すべきではないか
 - ウ ワンストップの災害相談窓口を設置すべきではないか
- (2) 物価高騰やコロナ禍で苦しむ市民を支援するため、非課税世帯や子育て世帯への直接支援をすべきではないか、また、今冬に向けて福祉灯油の支給をすべきではないか
- (3) 低所得者や高齢者世帯への熱中症対策として、冷房機器購入費や電気代の助成をすべきではないか
- (4) 新型コロナウイルス感染症について
 - ア 繰り返される感染拡大に対応するために、今後備えた態勢を整えておくべきではないか
 - イ 医療機関、介護施設、障がい児・者の福祉施設、保育所、市立学

校などで検査ができるよう十分な検査キットを確保し、積極的に活用すべきではないか

ウ 発熱などの市民の相談に迅速に対応できるよう、あきた新型コロナ受診相談センターのさらなる体制強化をすべきではないか

(5) 災害などの緊急事態に対応ができるよう、危機管理のために、十分な職員体制を整えるべきではないか

3 子育て支援について

(1) 高校卒業までの医療費を完全無料化すべきではないか

(2) 中学校卒業までの学校給食費を無償にすべきではないか

(3) 高校卒業まで、一乗車100円でバスを利用できるようにすべきではないか

(4) 国民健康保険税の未就学児の均等割を、本市独自に全額無料にすべきではないか

4 高齢者に優しく、高齢者が活躍できる支援について

(1) エイジフレンドリーシティの具体策をどのように進めていくのか

(2) 地域の自主的な活動を推進するために、支援担当者の配置をしたり活動継続のための支援をすべきではないか

(3) 高齢者コインバス事業は、シニアアキカ導入後も現金払いができるようにすべきではないか

(4) 超高齢社会に対応した買物弱者対策をどのように考えているのか

(5) 加齢による軽・中度難聴者の日常生活の質を維持するため、補聴器購入費の助成をすべきではないか

5 公共交通の利便性について

(1) バスを利用しやすいように調査をし、改善を図るべきではないか、また、利用者のニーズに合わせた、新しい地域交通の在り方を協議する組織を立ち上げるべきではないか

(2) 雄和地域から仁井田、牛島方面へ乗り継ぎなしでバス運行できない

か

6 男女共同参画社会を推進するために

- (1) 意思決定の場に女性が参画する機会の拡充にどのように取り組もうとしているのか
- (2) 市職員の女性管理職の登用率を高めるため、さらなる促進を図るべきではないか、また、多くの業務経験ができる環境整備を図り、管理職登用を見据えた、計画的な職員育成を進めることが必要ではないか

7 農業政策について

- (1) 農業者の実態把握の結果を受け、農家支援のための施策をどのように講じているのか、また、家族農業が見直されているが、本市としての支援はどうか
- (2) 生産地と消費地が隣接している利点をどのように生かし、消費拡大を進めるのか
- (3) 水田活用交付金の見直しによる本市農業への影響をどのように認識しているのか、また、その対応をどのように考えているのか
- (4) 加工品等への支援について
 - ア 米の6次産業化をどのように進めていくのか
 - イ 米粉の加工品開発に係る検討状況はどうか、また、消費拡大にどのようにつなげていくのか
 - ウ 規格外農産物を活用するため、加工し、流通に乗せるための施策を市として積極的に進めるべきではないか
 - エ 学校給食や福祉施設等で地産地消の促進を図るべきではないか

8 第14次秋田市総合計画推進計画における雄和地域の整備方針について

- (1) 地域別整備方針には、自然や観光・レクリエーション施設等の利用を促進するとあるが、具体的な計画は策定されているのか

1 外旭川地区まちづくり事業について

- (1) 事業パートナーからの提案内容を踏まえ、本市が考えている同地区まちづくりの具体像及び今後の論点を早急に明らかにすべきではないか
- (2) 外旭川地区まちづくり庁内検討委員会各分科会では、これまでどのようなことを検討してきたのか、また、今後の検討が必要な課題は何か
- (3) 卸売市場及び新スタジアムを含めた、イオンタウン株式会社と協働で進める同地区のまちづくりは、経済低迷下、人口減少下において、本当にモデル地区となり得るのか、また、他の地域への波及効果は期待できるのか
- (4) 土地利用規制に関する検討の進捗状況はどうか
- (5) 土地利用上の課題への対応手法として地域未来投資促進法を活用していく考えなのか、また、事業パートナーからの提案内容では、近隣の商業施設への影響が大きいと考えるが、基本構想を策定する過程で、総敷地面積及び民間施設等の変更はあり得るのか

2 中心市街地の活性化について

- (1) 低未利用地の利活用促進のため、市が主体となって、土地や建物の所有者と利活用を希望する事業者との調整を図る等の対策を講ずるべきではないか
- (2) 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の検証結果をどのように捉えているのか、また、検証結果を踏まえた、今後に向けた課題及び新たな施策の展開はどうか

3 新型コロナウイルス感染症について

- (1) 保健所を中心とする同感染症対応の過重な時間外労働の状況は改善されたのか、また、庁内における保健所への応援体制は十分なのか

(2) 本市の感染者数の高止まりが続く中で、今後の対応策をどのように考えているのか

(3) 市職員が同感染症に感染した際には、業務に支障を来さないように、各課所室等においてどのように対処しているのか

4 人口減少対策について

(1) 秋田市人口ビジョンで計画されている合計特殊出生率の仮定値は、全国一律の仮定の数字に基づくものであり、本市において、2040年に人口置換水準2.07を達成することは不可能であると考えるが、実態に合わせて数値や表現を再検討すべきではないか

(2) 若者の雇用の場の確保及び女性の転出に歯止めをかけるため、市としてどのような施策を重点的に展開していくのか

5 子どもの貧困対策について

(1) 秋田市子どもの未来応援ネットワーク会議を設置しているが、子どもの貧困対策に関する情報の収集・共有、施策の検討等について、これまでどのような取組を行ってきたのか

(2) 全庁横断的な推進体制として、子どもの貧困対策庁内連絡会を設置しているが、貧困対策に係る情報の収集・共有、施策の策定等にどのように取り組んできたのか、また、貧困の要因が多岐にわたる場合は、どのように支援していくのか

(3) 本市では、今年6月からヤングケアラーの実態調査に着手しているが、その進捗状況はどうか、また、支援コーディネーターの活動状況はどうか

(4) 子ども食堂の実施団体の状況を把握しているのか、また、個人や企業からの支援も含め、効果的な支援の在り方をどのように考えているか

6 消費者行政について

(1) 本市の消費者相談の件数及び特徴はどのようになっているのか、ま

- た、特殊詐欺被害の件数及び被害総額はどのようになっているのか
- (2) 特殊詐欺被害の未然防止のための啓発及び解決に向けた関係機関との連携はどのように行っているのか

7 プラスチック使用製品廃棄物について

- (1) 本市として、ワンウェイプラスチック削減をどのように進めているのか、また、市民及び民間事業者の反応と削減に向けた今後の課題はどうか
- (2) 本市では、プラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化にどう取り組んでいくのか、また、その課題は何か

8 農業施策について

- (1) 圃場の大区画化及び汎用化により、戦略作物の生産拡大は順調に進んでいるのか
- (2) 戦略作物の生産拡大により、市内・県内での地産地消と併せて県外への販路拡大を図るため、どのように取り組んでいくのか

9 福祉施策について

- (1) 重層的支援体制整備事業について、本市でも実施する考えはないか

1 秋田市の向かうべき姿について

- (1) 本市において何かを核としたまちづくりが必要と考えるが、市長の考えはどうか
- (2) 児童相談所の設置の必要性について、検討しているとのことであるが、その検討状況はどうか
- (3) 子供の医療費は、所得制限なしで18歳まで無料化すべきと考えるがどうか

2 補助金等の適正な運用について

- (1) 本市では世界平和統一家庭連合（旧統一教会）とその関連団体に補助金等を支出したことはあるのか、また、寄附を受けたことはあるのか

3 放課後等デイサービスについて

- (1) 放課後等デイサービスを行う事業者の運営状況等について、どのような指導を行っているのか
- (2) これまでも放課後等デイサービスを行う指定障害児通所支援等事業者に対する行政処分を行っているが、チェック体制は十分と考えているのか、また、再発防止策はどうか

4 本市の会計年度任用職員等について

- (1) 会計年度任用職員制度の開始から3年がたち、再度の任用に当たって公募が必要とされる職員が多いと思われるが、公募を行うことにより、結果的に雇い止めにつながる懸念はないのか
- (2) フルタイム会計年度任用職員に対し、期末手当だけではなく、勤勉手当相当額を報酬などに繰り入れて支給すべきと考えるがどうか
- (3) 会計年度任用職員制度の運用においては、労使間で十分な協議が必要と考えるが、これまで問題点や課題はなかったのか

(4) 再任用職員について、主事職が現業職場に配置されている場合があるが、業務内容に適した職員配置にすべきではないか

5 再犯防止について

(1) 保護司の支援が受けられない満期出所者などの就労や住居の確保は、どのような状況か

(2) 高齢者が万引きを繰り返す実態があるが、本市ではどのような対策を講じているのか

(3) 犯罪を犯した高齢者や障がい者に対し、福祉施設への入所等の福祉サービスを利用できるよう取り組んでいるが、その現状はどうか

6 道路損傷等通報システムについて

(1) 道路損傷等通報システムのスマートフォン用アプリを導入し、同アプリで同時に除排雪の情報も管理してはどうか

7 市役所のエアコン使用について

(1) 市庁舎内で適正な室温にならない箇所があった場合には、どのような対応をしているのか

(2) コミュニティセンターでの室温設定は統一しているのか

(3) 市職員の執務室には全てエアコンを設置すべきと思うが、設置していない箇所に今後設置の予定はあるか

8 骨箱の処分について

(1) 市営墓地で納骨を終えた後の骨箱の処分について、市民から依頼された場合には、市で直接引き取って処分することはできないのか

9 不登校について

(1) 本市の小中学生で不登校の児童生徒は何人いるのか、また、経済的理由で登校できない児童生徒はどうか

(2) 保護者の教育に関する考え方や家庭の事情で長期欠席している児童

生徒はいるのか

- (3) 不登校の児童生徒が在宅学習をした場合に、指導要録上出席扱いで
きるが、活用例はあるのか、また、オンライン教材での学習の場
合はどうか
- (4) 不登校となる前段階での解決に向けて、どのような取組を行っ
ているのか
- (5) 本市として、不登校となった場合の支援の在り方をどのよう
に考えているのか

10 諸課題について

- (1) 今年度予定している旭又登山道のり面崩落箇所の整備につい
て、どのような工法で行うのか
- (2) 太平山の各登山道におけるヤマビル対策をどのように行っ
ているのか
- (3) 秋田港四ツ谷線沿いや秋田明田郵便局前の通り沿いなどで、
街路樹の強剪定や不適當と思われる時期での剪定が見られる
が、剪定の基準はどうか
- (4) 泉外旭川駅に続く天徳寺通りの街路樹が伐採されたが、
その理由は何か
- (5) 土崎地区の電線地中化を早期に実現できるよう検討を進
めるべきと思うがどうか
- (6) 日本最後の空襲である土崎空襲を受けた秋田市として、
一般財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会に加盟して
はどうか

1 市政経営に対する市長の基本姿勢について

- (1) 4期目に掲げた公約の現在の達成状況及びその実現に向けた重点項目は何か、また、実現するための覚悟はどうか
- (2) 外旭川地区まちづくりについての今後の進め方と、市長の意気込みはどうか
- (3) 本市沖における洋上風力発電事業の進展に伴い、地元企業への育成支援を検討すべきではないか

2 秋田市行政改革大綱について

- (1) 第7次行政改革大綱のこれまでの成果と課題をどう捉えているのか
- (2) 次期行政改革大綱において、本市を取り巻く社会情勢や新型コロナウイルス感染症の影響をどのように認識した上で策定していくのか
- (3) 次期行政改革大綱では、どのような視点から、どのような取組を重点的に推進するのか

3 秋田市公共施設等総合管理計画について

- (1) 民間の専門的な知識を導入するなどして、市有施設を包括的に保守管理する仕組みを考えていくべきではないか
- (2) 公共施設管理の現状と将来の見通しを市民に理解してもらうため、計画内容などを分かりやすく周知すべきではないか
- (3) 施設保有量の見直しのため、各部局における施設の在り方の検討や稼働率などの利用状況を把握し、その類似機能を検討するなど、具体的な保有量の目標を定め、その実現に全庁的に取り組んでいく組織が必要ではないか
- (4) 保有面積の多い学校教育系施設や公営住宅については、学校の統廃合に伴う廃校舎の解体や民間への売却、市営住宅の民間化や民間住宅の活用など、保有量の縮減に努めるべきではないか

4 歴史・文化施設について

(1) 佐竹史料館改築基本計画等について

ア 芸術文化ゾーンと千秋公園の歴史ゾーンのすみ分けを明確にすべきではないか

イ 建設予定地の地盤や斜面の状況など、調査結果は問題ないのか

(2) 秋田城跡歴史資料館、土崎みなと歴史伝承館などを北歴史エリア、佐竹史料館などの千秋公園周辺を中央歴史エリア、地蔵田遺跡（弥生っこ村）などを南歴史エリアとして、市内の歴史を「継ぐ」ような構想を考えるべきではないか

(3) 旧松倉家住宅の指定管理者選定において、管理運営のどのような点を評価したのか

(4) 旧金子家住宅、如斯亭庭園、旧黒澤家住宅、赤れんが郷土館などの文化施設についても、利用時間などの利用規則の見直しや、新たな活用の方法などを検討してはどうか

(5) 佐竹史料館及び千秋美術館が約2年間休館する対応として、他施設と連携しながら情報発信を行ってはどうか

5 大森山公園の今後について

(1) 同公園を、これまでの観光に加え、自然環境を生かした「動物学学習」「自然学習」の教育の公園と位置づけ、「命の大切さ、心のふれあう教育」の場としても、全国へ情報発信してはどうか

(2) 四季を通じた教育の場として、大森山動物園を通年の開園とすべきと考えるがどうか

(3) 大森山公園整備基本計画で示されている7つのゾーンについては、早期に整備すべきではないか

6 教育行政について

(1) ICTを活用した学習について

ア 市立小中学校におけるタブレット端末の活用状況はどうか

イ 児童生徒の声や教員のスキルアップ、サポート体制など、現状で

の成果をどう捉えているのか、また、各学校間で取組の差などは生じていないか

ウ 国が令和6年度から導入の方針としているデジタル教科書について、本市ではどのように対応していくのか

(2) 部活動について

ア 少子化に伴い、部活動の維持が困難となっている学校もあるが、現状と課題をどう認識しているのか、また、その対応策はどうか

イ 国が示す部活動の地域移行について、指導者の確保などを含め、どのように対応していくのか

7 道路除排雪の基本計画書について

(1) 除排雪の委託業者を増やし、作業効率の向上を図るため、新たな堆雪場をつくるべきではないか

(2) 今冬の除排雪の取組について、現時点で見直しを考えている事項はないか

8 マイナンバーカードの交付率向上に向けた取組について

(1) これまでどのような取得促進の取組を行ってきたのか、また、交付率はどうなっているのか

(2) 申請や交付などを行う専用の窓口を設置する考えはないか